

農福連携へ最初の一歩を踏み出し、県内の連携を強化する取組

兵庫県農業の課題解決のため県内農業者、福祉事業所等が農福連携への理解を深め、取組の輪を広げることを目的として、「最初の一歩をみんなと一緒に」をテーマに農福連携交流会を開催

○ 施策分類

農福連携

KPI：取組主体数12,000件、協議会へ200以上の市町村が参加

○ きっかけ・背景、課題の把握

農福連携の取組は、兵庫県内の農業者からの期待や関心も大きいが、一方では、農業・福祉のそれぞれの立場から不安の声も出ているため、交流会を通じお互いの理解を深めて不安を払拭し、まずは最初の一歩を踏み出して取組の輪を広げることや県内の連携強化を図ることを目的に開催。

○ 取組の内容

兵庫県の協力のもと、農業者・福祉事業所等を中心に呼びかけた結果、総勢132名の参加があり(1)ノウフクアワード受賞2団体の講演(2)行政からの情報提供(3)農福連携取組農業者5名及び福祉事業者3名による意見交換を実施。更に農業者9名から農福連携作業依頼シートの提出があり参加者に配付。その後も継続して拠点が福祉事業所とのマッチングをフォローアップ。

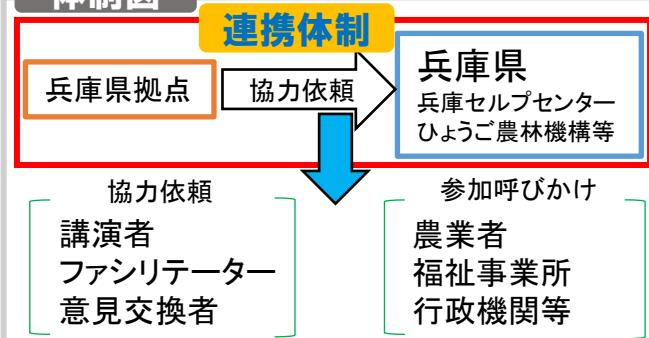
○ 効果・成果、今後の方向性

交流会終了後のアンケートによると、農業者サイドからは「はじめの一歩を頼りに、まずはやってみようと思った」。福祉サイドからは「今回の交流会に参加して、一歩踏み出そうと思った」といった、今後の取組に向けて前向きな意見を多く頂戴し、拠点のフォローアップでは9名中3組のマッチングが実現。



会場の様子

体制図



農福連携交流会

講演(取組発表)
CuRA! 代表 真保 若葉 氏
社会福祉法人青葉仁会 理事長 榊原 典俊 氏
意見交換会 ファシリテーター
兵庫県立大学大学院 教授 豊田 正博 氏